

## ●診療科紹介

リウマチ膠原病の外来や入院での診療を行う。

## ●主な診療内容

<診断・治療> 診断や経過観察。

治療は抗リウマチ薬、副腎皮質ステロイド、免疫抑制剤、生物学的製剤などの内科治療。

<外来>

週2回リウマチ科の外来(一枠は腎臓内科と同時)。

病診連携:病状が落ち着いている患者はかかりつけ医と連携。

<入院>

入院治療が必要な場合は、当科などで治療。入院時の主治医以外の担当医として腎臓内科医があたりがあった。

## ●スタッフ

医師 太田康介 (副統括診療部長、腎臓内科と兼任)

## ●実績(令和4年度):リウマチ科外来診療患者

<外来>通院患者 184例 (令和4年度末患者数.一部の腎病変合併例は除く)、初診 50例

関節リウマチ	83例	全身性エリテマトーデス	8例
強皮症(全身性、限定性)	12例	皮膚筋炎	3例
シェーグレン症候群	9例	ベーチェット病	2例
リウマチ性多発筋痛	16例	IgG4関連疾患	7例

(上記には外来診療科が総合診療科からリウマチ科に変わった患者 31例を含む)

<入院> 16例 (延べ人数)

関節リウマチ	2例	全身性エリテマトーデス	5例
強皮症	1例	皮膚筋炎	1例
ベーチェット病	2例	IgG4関連疾患	2例
RS3PE症候群	1例	その他	2例

\* 入院は初回治療(副腎皮質ステロイドなど)、合併症治療、生物学的製剤投与(短期入院)

\* 死亡退院 2例

<院内連携>

他科入院、外来患者の併診(循環器、呼吸器、総合診療、整形外科、皮膚科、眼科など)

## ●教育

ベッドサイドなどでの on job training、内科カンファレンスでの講義

## ●研究・学会活動

日本リウマチ学会教育施設

## ●治験・臨床研究など

ジセラカ市販後調査